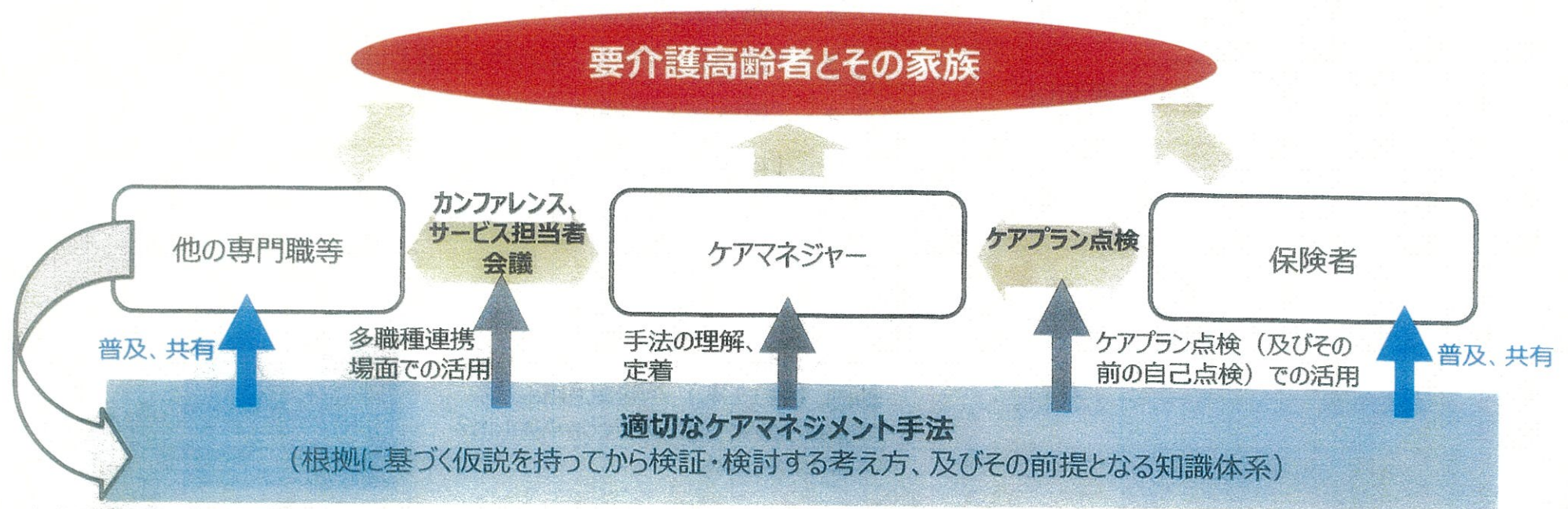


「適切なケアマネジメント手法」について

- 「適切なケアマネジメント手法」は、要介護高齢者の生活の継続を支えるうえで必要とされる支援内容について、根拠性の高い知見を取りまとめた手法。
- 2016年度から厚生労働省の事業の中で検討し、確立してきたもの。

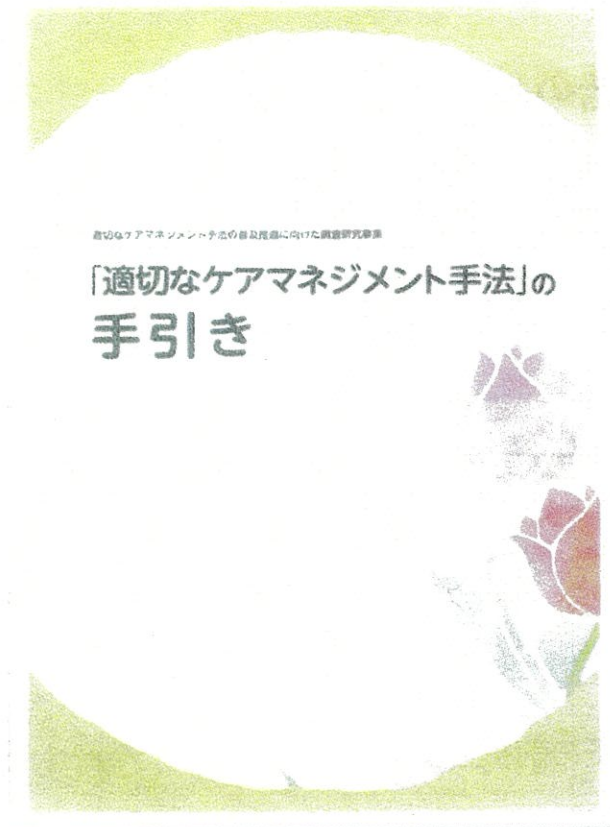
尊厳を保持し、住み慣れた地域での生活の継続の実現



各職種で培われた「**状態の維持、重度化の予防・遅延化、リスク低減**」の根拠のある知見（支援内容）の反映
 ※各職種の知見の進化と併せて適宜、知見のアップデートが必要

「適切なケアマネジメント手法」の普及

- 2020年度、本手法を再整理して基本ケアと5つの疾患別ケアを取りまとめ、『「適切なケアマネジメント手法」の手引き』を発行。手法の概要や活用方法を周知した。



手引きの内容

1. 「適切なケアマネジメント手法」ってなんだろう？
2. 「適切なケアマネジメント手法」の基本的な考え方
3. 「適切なケアマネジメント手法」をどう取り入れる？
4. 「基本ケア」の理解を深める
5. 「疾患別ケア」の理解を深める
6. 「適切なケアマネジメント手法」の活用方法

※ 日本総研YouTubeで手引きの解説動画（全11本）が閲覧可能。
<https://www.youtube.com/watch?v=knEfiXiJbkk>

